

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 20 日 作成
 20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 20 日 作成

事務事業名		総合健康センター施設維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連		
総合 計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	産業振興部	課長名	米澤 俊一	
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	商工振興課	担当者名	中村 公彦	
	基本事業	90	公有財産の管理運営			所属班	商工・企業誘致班	(内線)	1251	
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果	6
		1	7	1	2	11284			コスト削減優先度評価結果	9
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成 13 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				
【事業の内容】 指定管理者協定書に基づく、総合健康センターの施設維持管理事業。公益上認められる30万円以上の施設・備品等の修理。 【業務の流れ】 ㈱にしごうから対象金額に達する申請に対し内容を審査し該当のある場合のみ施設等の修繕を行う ①にしごうからの申請、②受付・内容審査、③業者選定・発注、④業務契約、⑤修繕工事実施、⑥検査、⑦支払い 【主な予算費目】 委託料、工事請負費、負担金										

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)
 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)
 建物点検調査委託(483,000円)を実施(事業番号11284)
 源泉水量計修理(348,946円)を㈱にしごうに負担金支払。(事業番号11151)

21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
 合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」修繕工事を上半期に実施

⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	ア: 修理箇所	件
イ: 修理等金額		千円
⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	ア: 来館者	千人
イ:		
⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	ア: 修理済箇所数/要修理箇所数	%
イ: 苦情・要望の対応件数/苦情・要望の総数		%
⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	ア: 目的に併せて有効活用されていない資産の割合	%
イ:		

(2) 総事業費・指標等の推移

事業費	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)		～ 年度
投入量	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)	
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円		3,255	500	798	5,000	5,000		5,000
	(A) 事業費計	千円	0	3,255	500	798	5,000	5,000		5,000
うち指定経費	千円									
うち時間外、特殊勤務手当	千円									
人件費	正規職員従事人数	人	3	2	3	2	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	440	255	440	350	400	400	400	
(B) 人件費計	千円	1,747	1,015	1,751	1,393	1,592	1,592	1,592	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,747	4,270	2,251	2,191	6,592	6,592	6,592	0	
活動指標	ア: 件	3	1	1	1	1	1	1	目 標 合 計 値 画 22 年 度	
	イ: 千円	0	3255	500	315	5000	5000	5000		
対象指標	ア: 千人	536.3	516.5	520	531.3	530	530	530		
	イ:									
成果指標	ア: %	57	60	60	60	60	60	60		
	イ: %	38	40	40	40	40	40	40		
上位成果指標	ア: %									
	イ:									

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 平成13年7月西合志町総合ふれあいセンター「ユーパレス弁天」が開館。地方自治法改正に伴い、管理委託制度から指定管理者制度に移行し、平成18年8月に締結した協定書の規定に基づき開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 指定管理者の指定期間が平成21年9月末となっており、期間満了後は指定管理者の改正が必要となる。
 平成19年度に物産館の増設を行った。㈱にしごうの収支が平成19年度は赤字経営だったが、平成20年度は黒字の見込み。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 協定書に基づく修理費等の予算計上について、議会から市費の投入は慎重に行うよう指摘がある。
 施設開館から丸7年を経過し施設が老朽化したことにより、利用者から雨漏りや清潔感に対する苦情が上がっている。

事務事業名	総合健康センター施設維持管理事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図の「利便性・安全性を確保する」ことにより、結果の「目的に沿って適正に管理され、有効に活用されている。」ことに結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 「ユーバレス弁天」は「公の施設」であり、指定管理者協定書に基づき市が維持管理事業を実施することは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 「公の施設」の維持管理事業であり、適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 指定管理者との連絡調整を頻繁に行い、施設の不備に対する迅速な対応とその裏づけとなる予算の手当てを行うことで、成果の向上は見込める。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事業が実施できなくなると「施設利用者の利便性・安全性の確保」が難しくなる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段、事務事業) 直営による施設運営・監理 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 専門的な管理技術が必要であり、直営での管理は難しい <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 指定管理協定書で、限度額を上げれば市の負担額は削減できる。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 指定管理者と打合せながら業務を進めるため、現在のやり方からの削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 指定管理協定書に基づく事業であり、公平公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性については、指定管理者との連絡調整を頻繁に行い、施設の不備に対する迅速な対応とその裏づけとなる予算の手当てを行うことで、成果の向上は見込める。 ③効率性については、事業費は指定管理協定書で、限度額を上げれば市の負担額を削減できる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 指定管理者との連絡調整を頻繁に行い、施設の不備に対する迅速な対応とその裏づけとなる予算の手当てを行う。また、指定管理者更新の際に、協定書の修繕等の限度額について協議を行う。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
建築から8年目を迎えて、施設の大規模改修について検討する必要となる。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	—	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	—	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)